



おいしく たのしく すこやかに



森永製菓株式会社 NEWS RELEASE

2026年3月18日

「i nゼリー エネルギー」のカーボンフットプリント（CFP）算定を完了 製品ライフサイクル全体での温室効果ガス（GHG）排出の構成を可視化

森永製菓株式会社（東京都港区芝浦、代表取締役社長 COO・森 信也）は、当社主力製品の1つである「i nゼリー エネルギー」における製品1個あたりのカーボンフットプリント（以下、CFP：CO₂相当量）算定を完了しましたので、結果をお知らせします。本取り組みは、農林水産省が実施した「加工食品カーボンフットプリント（CFP）算定に係るモデル事業」（※1）に採択されたプロジェクトとして、令和7年度「フードサプライチェーンの見える化推進委託事業」の一環で実施しました。

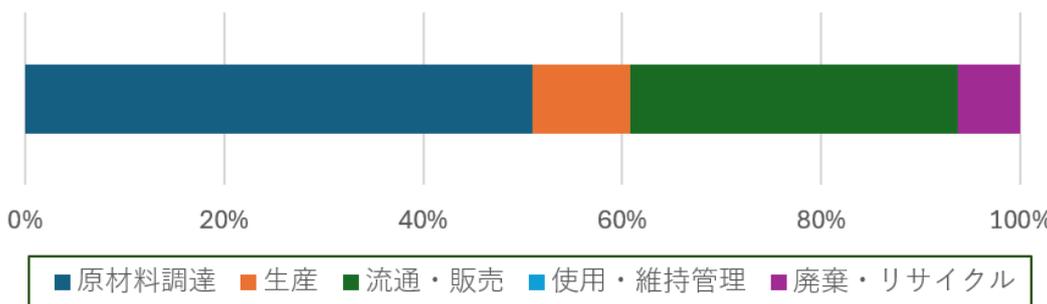
森永製菓グループでは、パーパス「世代を超えて愛されるすこやかな食を創造し続け、世界の人々の笑顔を未来につなぎます」のもと、重要課題（マテリアリティ）である「地球環境の保全」に取り組んでいます。2030年までに2018年度比で国内グループのCO₂排出量30%削減、2050年までにグループの温室効果ガス排出量を実質ゼロにする長期目標の実現に向け、製品ライフサイクル全体での環境負荷低減を進めています。

今回、農林水産省が公表している『加工食品共通 CFP 算定ガイド（2025年3月版）』に準拠して、原材料調達から生産、流通・販売、使用・維持管理、廃棄・リサイクルまでの各段階で発生するGHG排出量を可視化し、ホットスポット分析を実施しました。その結果、総排出量のうち原材料調達段階が5割超を占めることを確認しました。当社は、今回の算定で得られた知見をものづくりとサプライチェーン全体の改善に生かし、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。算定結果の概要は以下のとおりです。

※1 出典：農林水産省 プレスリリース 2025年10月10日「令和7年度加工食品カーボンフットプリント（CFP）算定のロールモデル創出に向けたモデル事業の参加企業が決定」 https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/b_kankyo/251010.html

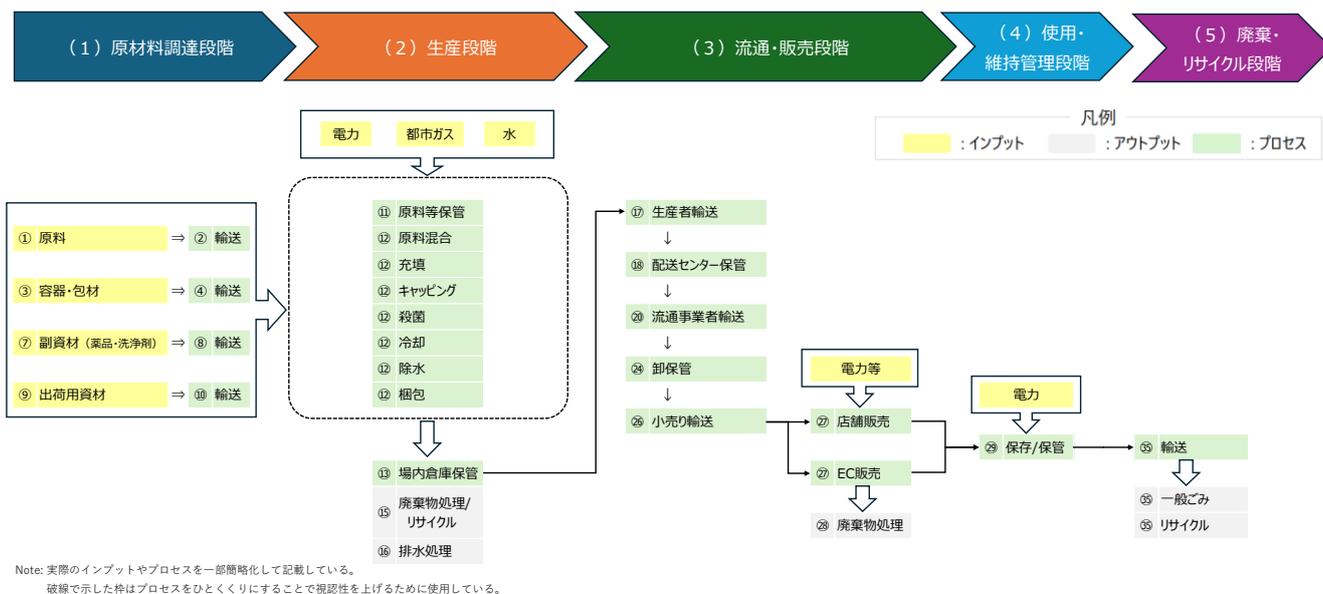
■算定結果（概要）

対象製品	: i nゼリー エネルギー
算定単位	: 1個
製品1個あたりのCFP	: 0.367 kg-CO ₂ eq
主なホットスポット	: 原材料調達（総排出量の5割超）
ライフサイクルステージ	: 原材料調達～廃棄・リサイクル段階（カットオフなし）
算定ルール	: 加工食品共通 CFP 算定ガイド（2025年3月版）に準拠
2次データベース	: AIST-IDEA v3.5.1を使用
CFP算定結果の割合	: 以下の図をご参照ください



■ 参考資料

・ライフサイクルフロー図



・プロセス別のデータ収集方針

ステージ	#	プロセス	活動量	排出係数	
原材料調達	①	原材料	1次データ	2次DB	
	②	輸送（原材料）	1次データ	2次DB	
	③	包材	1次データ	2次DB	
	④	輸送（包材）	1次データ	2次DB	
	⑦	副資材	1次データ	2次DB	
	⑧	輸送（副資材）	1次データ	2次DB	
	⑨	出荷用資材	1次データ	2次DB	
	⑩	輸送（出荷用資材）	1次データ	2次DB	
	生産	⑪	保管	1次データ	2次DB
		⑫	生産/包装	1次データ	2次DB
⑬		保管	1次データ	2次DB	
⑮		廃棄物処理/リサイクル	1次データ	2次DB	
⑯		排水処理	1次データ	2次DB	
流通・販売		⑰	生産者輸送	1次データ	2次DB
	⑱	保管	1次データ	2次DB	
	⑳	流通事業者輸送	シナリオ	2次DB	
	㉔	保管	シナリオ	2次DB	
	㉖	輸送	シナリオ	2次DB	
	㉗	販売	1次データ+シナリオ	2次DB	
	㉘	廃棄物処理/リサイクル	1次データ	2次DB	
	使用・維持管理	㉙	保存/保管	シナリオ	2次DB
廃棄・リサイクル	㉚	廃棄物処理/リサイクル	1次データ	2次DB	

※ ㉗販売にかかる GHG 排出量の算定には、「加工食品共通 CFP 算定ガイド【別冊】共通シナリオ」に記載の販売シナリオは採用せず、AIST-IDEA v3.5.1 の「総合スーパーでの小売(従業者が常時 50 人以上), JPN」を採用し、保守性のある算定を優先しているため、より大きな排出量となっております。

・適用したシナリオの一覧

#	ステージ	対象プロセス	シナリオ内容
1	流通・販売段階	㊸流通事業者輸送	配送センターから卸までの実際の距離を把握できていないため、国内主要拠点からそれぞれの地域に配送される保守的な推計距離を設定した。 ・県間輸送の可能性がある輸送：500 km ・平均的な積載率の10 トントラック（軽油）
2	流通・販売段階	㊹保管	卸における当社製品の保管期間が不明であるため、これまでの事業経験より保守的な推定日数を設定した。 ・配送センター保管期間：80 日
3	流通・販売段階	㊺輸送	卸から小売までの実際の距離を把握できていないため、県内に配送される保守的な推計距離を設定した。 ・県内に閉じることが確実な輸送：100 km ・平均的な積載率の10 トントラック（軽油）
4	流通・販売段階	㊻販売（EC 販売）	卸から顧客までの実際の距離を把握できていないため、特定地域に限定されない保守的な推計距離を設定した。 ・特定地域に限定されない輸送（国内）：1,000 km ・平均的な積載率の10 トントラック（軽油）
5	使用・維持管理段階	㊼保存/保管	顧客の冷蔵保管にかかる電力消費量が不明であるため、一般的な家庭用冷蔵庫の内、低効率の数値を利用し保守性を確保して設定した。 消費電力量[Wh] = ショーケースの容量当たり消費電力[W/L] × 算定単位当たりの占有容量[L] × 平均保管陳列時間[時間] W/L=0.2、占有容量=0.2 L、保管 72 時間、冷蔵保管は売上の約 1 割を想定

注意事項

- 本内容は第三者検証・認証を受けたものではありません。当社が設定した前提条件・データに基づく推計であり、前提の変更により数値は変動する可能性があります。
- 本情報は製品間の相対比較を目的としたものではありません。
- 上記の丸囲み数字は『加工食品共通 CFP 算定ガイド』に準拠したプロセス番号を使用しており、当社に該当しないプロセスは欠番としております。